

4.17 廃棄物等

(1) 予測

1) 予測内容

① 造成等の工事に伴う廃棄物の排出及び排出抑制の状況

予測項目は、廃棄物の種類及び種類ごとの排出量、廃棄物の排出抑制の状況とする。

② 施設の稼働に伴う廃棄物の排出及び排出抑制の状況

予測項目は、廃棄物の種類及び種類ごとの排出量、廃棄物の排出抑制の状況とする。

③ 施設の稼働に伴う雨水及び処理水の再利用状況

予測項目は、水の使用量及び雨水・処理水等の再利用の状況とする。

2) 予測方法

① 造成等の工事に伴う廃棄物の排出及び排出抑制の状況

土地利用計画及び進出企業の建築計画等を想定し、既存資料の建設廃棄物の排出原単位等を用いて廃棄物の種類及び種類ごとの排出量を予測する。また、廃棄物の排出抑制の状況については、工事中の環境保全対策を整理する。

② 施設の稼働に伴う廃棄物の排出及び排出抑制の状況

周辺への影響が大きくなる製造系の土地利用、進出企業の業種及び配置等を想定し、各種統計資料や既存資料、類似事例を用いて廃棄物の排出原単位を設定し、廃棄物の種類及び種類ごとの排出量を予測する。また、廃棄物の排出抑制の状況については、環境保全対策を整理する。

③ 施設の稼働に伴う雨水及び処理水の再利用状況

雨水の処理計画、排水の処理計画等の事業計画を整理し、環境保全措置を踏まえ、雨水及び処理水の再利用による上水使用量の削減については、定性的に予測する。

3) 予測地域・地点

予測地域・地点は、計画地内とする。

4) 予測時期等

① 造成等の工事に伴う廃棄物の排出及び排出抑制の状況

工事中の全期間とする。

② 施設の稼働に伴う廃棄物の排出及び排出抑制の状況

供用後の事業活動が定常状態に達した時期とする。

③ 施設の稼働に伴う雨水及び処理水の再利用状況

供用後の事業活動が定常状態に達した時期とする。

(2) 評価

1) 評価方法

廃棄物等による影響が、事業者の実行可能な範囲内でできる限り回避され、又は低減されているかどうかを明らかにするとともに、埼玉県や桶川市の廃棄物等に係る計画等の目標等と予測結果との間に整合が図られているかどうかを明らかにする。

2) 環境の保全に関する配慮方針

① 造成等の工事に伴う廃棄物の排出及び排出抑制の状況

- ・造成等の工事中における廃棄物は、分別を徹底し、再資源化及び再利用等の促進を図るとともに、再利用できないものは専門業者に委託し、適切に処理する。

② 施設の稼働に伴う廃棄物の排出及び排出抑制の状況

- ・進出企業に対し、施設の稼働に伴い発生する廃棄物については、排出抑制、分別、リサイクルの推進などの適正処理に努めるよう指導する。

③ 施設の稼働に伴う雨水及び処理水の再利用状況

- ・進出企業に対し、雨水及び施設の稼働に伴い発生する処理水の再利用による上水使用量の削減の取り組みを奨励する。